

# ミラノフ & 児玉 桃 ザ・チャイコフスキー!

あふれるロマンと哀愁  
チャイコフスキーが音楽で描いた二つのドラマ

指揮：ロッセン・ミラノフ

ピアノ：児玉 桃

管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団

Rossen Milanov  
Conductor

Momo Kodama  
Piano

© Marco Borggreve

～オール・チャイコフスキー・プログラム～  
Pyotr Il'yich Tchaikovsky:

ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23

Piano Concerto in B flat minor, op.23

マンフレッド交響曲 op.58

Manfred Symphony, op.58

Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2020 2/14 (金)・15 (土)・16 (日) 3:00pm開演 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール  
(2:15pm開場) 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

A席4,000円 B席3,000円 C席2,000円 D席1,000円(全席指定税込) ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 [10:00am-5:00pm 月曜休み※祝日の場合翌日]

一般発売

10/13日

チケット予約

- 芸術文化センター 0798-68-0255 <http://www.gcenter-hyogo.jp>
- イープラス <http://eplus.jp> (パソコン&携帯)
- チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード 160-105] <http://pia.jp/t/>
- ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応)、0570-084-005 [Lコード 52002] <http://l-tike.com>

芸術文化センター  
会員先行予約受付開始

10/11日

直接購入

芸術文化センター2階総合カウンター [10/14 (月・祝)より、残席がある場合のみ] ローソン、ミニストップ[Loppi]、ファミリーマート[Famiポート]、セブンイレブン[マルチコピー機]

※プレイガイドでのお取り扱いについては各プレイガイドにお問い合わせください。※未就学児童のご入場はご遠慮ください。  
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

©主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

助成：



文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術創造活動活性化事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会



兵庫県立  
芸術文化センター



## 兵庫芸術文化センター管弦楽団 第121回定期演奏会

ロシア音楽ならではのロマンと哀愁が詰まった、チャイコフスキーの世界。第121回定期では、ドラマティックな音楽で聴き手を魅了する二つの作品が届けられます。

ピアノ協奏曲第1番は、草稿の段階で大ピアニストの友人から「貧弱で演奏不可能」と酷評されたことでも知られる作品。しかし、広大なロシアの大地を思わせるその音楽は、今や定番レパートリーとして世界中で愛されています。PAC定期初登場、大阪生まれ、ヨーロッパ育ちの児玉桃の凛々しく美しいピアノが、その名曲たる所以を存分に教えてくれるでしょう。

後半に演奏されるのは、イギリスの詩人バイロンの劇詩に基づいて書かれた「マンフレッド交響曲」。愛する人を失ったアルプスの城主マンフレッドが、苦悩の中、死を求めて山中をさまよひ、最後は苦しみから解放されて息絶えるという筋書き。

指揮はPAC定期6度目の登場、メンバーが厚い信頼を寄せるロッセン・ミラノフ。神秘的な物語を、若きPACとともに壮大なスケールで描きあげます。どうぞご期待ください。

### 指揮：ロッセン・ミラノフ

Rossen Milanov, Conductor



聴衆からも演奏家からも深く敬愛されているロッセン・ミラノフは、現在、アメリカのコロンバス交響楽団、シャトークア交響楽団、プリンストン交響楽団、そしてスペインのアストゥリアス交響楽団の音楽監督を務めている。2019年秋からは、スロベニア放送響の首席指揮者にも就任。すでにアメリカ国内はもとより国際的にも指揮者として確固たる地位を築いているミラノフは、シンフォニーとオペラ・バレエの両分野において活躍しており、これまでにBBC響、スイス・ロマンダ管、ロッテルダム管、ベルリン・コメッシュ・オーパー、チューリッヒ・バレエ、トロント響、サンパウロ州立響、ニュージーランド響を、そしてアジアにおいてはN響、東響、兵庫芸術文化センター管、シンガポール響、マレーシア・フィル、香港フィルなどを指揮している。カーティス音楽院とジュリアード音楽院(ブルーノ・ワルター記念奨学金を授与された)で指揮を学んだ。兵庫芸術文化センター管弦楽団の定期演奏会は2017年6月に続き、これが6度目の登場となる。

### ピアノ：児玉 桃

Momo Kodama, Piano



J.S.バッハからメシアンを含む現代作品まで、幅広いレパートリーと豊かな表現力で活躍を続ける国際派。幼少の頃よりヨーロッパで育ち、パリ国立音楽院に学ぶ。1991年、ミュンヘン国際コンクールに最年少で最高位に輝く。その後、ケント・ナガノ指揮ベルリン・フィル、小澤征爾指揮ボストン響、モンリオール響、ベルリン・ドイツ響、北ドイツ放送交響楽団との共演、デュトワ指揮NHK交響楽団とのアジアツアーのソリストを務めるなど着実に世界的なキャリアを築く。2013年にはルツェルン音楽祭、ウィグモアホール、東京オペラシティ文化財団の共同委嘱による「細川俊夫：練習曲集」をルツェルン音楽祭にて世界初演、12月には東京オペラシティにて日本初演、翌年ロンドン・ウィグモアホールでも演奏。CD録音も活発に行い、オクタビア・レコード、ECMより数多くリリースしている。2009年中島健蔵音楽賞および、芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。パリ在住。

### 兵庫芸術文化センター管弦楽団

Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月に設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務め、定期演奏会をはじめ、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西元気文化圏賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞、2017年ミュージック・ペンクラブ賞受賞。通称PAC(パック)オーケストラ。 [http:// hpac-orc.jp](http://hpac-orc.jp)



<http://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター  
Hyogo Performing Arts Center

**先行予約会員募集中!**

詳しくは、<http://www.gcenter-hyogo.jp>

### 便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも  
ホールまで15分

(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

